

晴れの国ブルースカイ事業の コンセプトについて

令和 2 年 7 月 28 日

岡山県環境文化部環境管理課

目次

1 はじめに

- (1) 動機
- (2) PM2.5とは
- (3) PM2.5の現状

2 事業の方向性

- (1) 現状・問題点
- (2) 検討
- (3) 方向性

目次

1 はじめに

- (1) 動機
- (2) PM2.5とは
- (3) PM2.5の現状

2 事業の方向性

- (1) 現状・問題点
- (2) 検討
- (3) 方向性

1 はじめに (1)動機

環水大大発第 1803273 号
平成 30 年 3 月 27 日

各 都道府県 }
政令市 } 大気環境担当部(局)長 殿

環境省水・大気環境局

大気環境課長

微小粒子状物質 (PM_{2.5}) と野焼き行為との関連について (通知)

大気環境行政の推進につきましては、平素より御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。微小粒子状物質 (以下「PM_{2.5}」という。) の常時監視については、平成 28 年 9 月 26 日に改正した「大気汚染防止法第 22 条の規定に基づく大気汚染の状況の常時監視に関する事務の処理基準について (平成 13 年 5 月 21 日環管大第 177 号、環管自第 75 号)」に基づき、実施することとしています。

また、廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (昭和 45 年法律第 137 号) においては、農業を営むためにやむを得ないものとして行われる廃棄物の焼却等の一定の例外を除いて、野外での廃棄物の焼却 (野焼き) を禁止しています。

今般、環境省では、野焼きの実施状況に関するアンケートを実施し、PM_{2.5} と野焼き行為との関連性や野焼きを減らすための有効な取り組み等について、アンケート調査結果を別添 1 のとおり取りまとめましたので、参照の上、以下の点などについて留意下さい。

- 1) 煙を伴う稲わら焼きなどの野焼き行為によって、PM_{2.5} 質量濃度の上昇に、直接的に影響を与える場合があることを、関係行政部局や一般に周知下さい。なお、別添 2 に示す気象条件時は高濃度になりやすいので注意願います。
- 2) PM_{2.5} 質量濃度の測定に際して、野焼き等で発生した煙の影響による上昇と判断された場合の測定値の取扱いについては、一律に「野焼きのため欠測」と処理することなく、貴自治体において、統一的な視野に立った判定基準 (例えば、複数局で観測されるような広範囲の野焼きの場合は欠測としない等) を設けた上で、測定値を処理して下さい。
- 3) 別添 1 の P13「(2) 野焼きの防止に係る対策、取組等」に示されるように、稲わら等の有効利用の促進に関する様々な取組は、継続して野焼き行為を減らしていける取組であると考えられます。貴自治体において、参考にして下さい。

微小粒子状物質 (PM2.5) と野焼き行為との関連について (通知)

環水大大発第 1803273 号 H30. 3.27
環境省水・大気環境局大気環境課長

ポイント

- **稲わらの野焼きが PM2.5 の濃度に影響**
- **他県の野焼きを減らす取組事例を紹介 (条例など)**

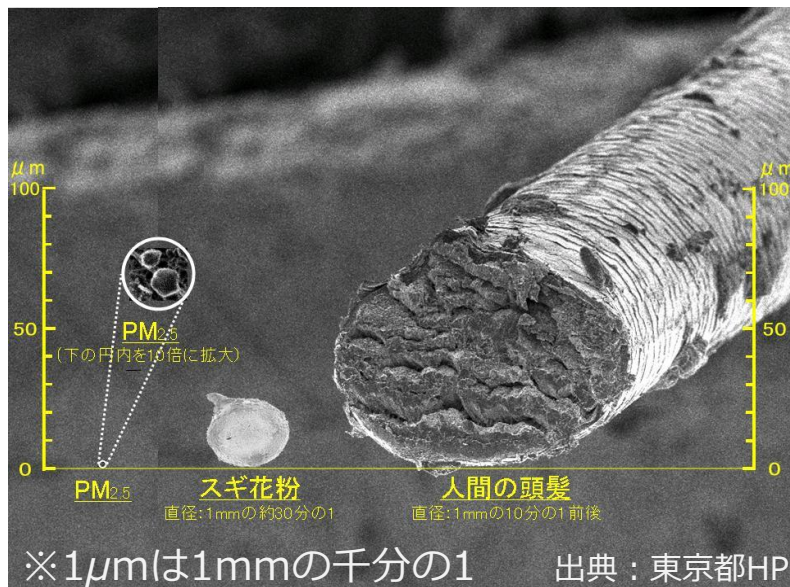


**達成率が低い本県で
対策の必要性**

1 はじめに (2) PM2.5とは

PM2.5 (微小粒子状物質)

- ・大気中に浮遊している $2.5\mu\text{m}$ 以下の小さな粒子
- ・髪の毛の1/30程度、肺の奥深くまで入りやすい
- ・呼吸器系や循環器系への影響が懸念
- ・燃烧等に伴う人為発生源の寄与率が高い

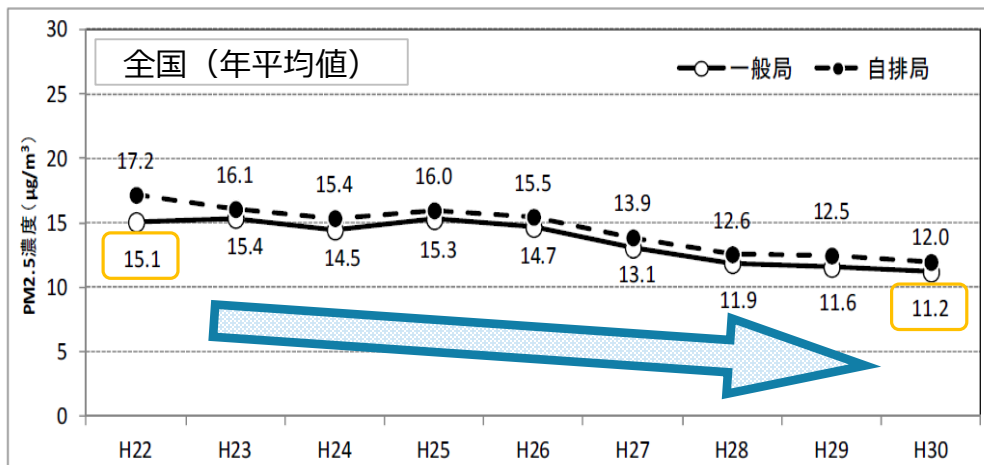


環境基準：1日平均値 $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
1年平均値 $15\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下

発生源

- ・工場・事業場の排ガス
➡ **施設からの排出規制**
- ・自動車・船舶等の排ガス
➡ **排ガス規制**
- ・その他（たき火、野焼き など）
➡ **未対策**
(一律の規制は困難)





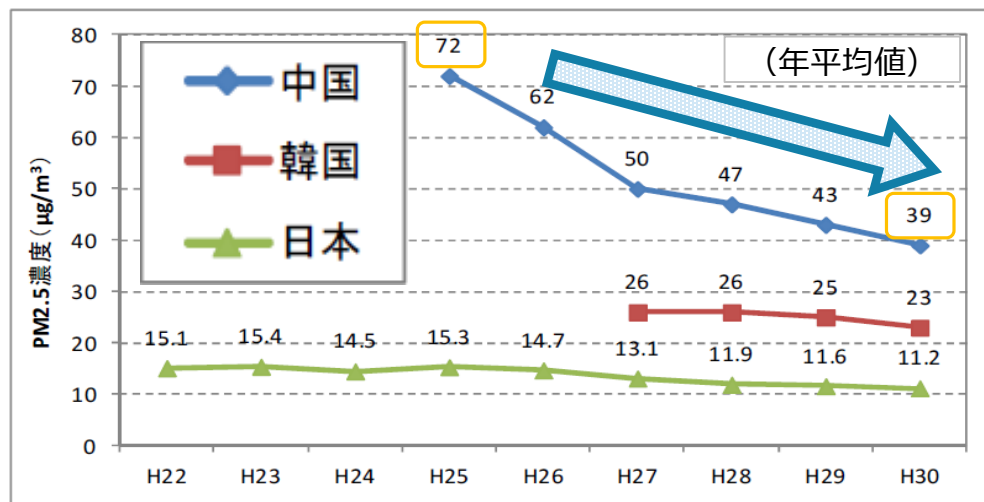
PM2.5濃度の推移



全国

➤ 緩やかな改善傾向

環境基準 (15μg/m³) クリア



海外

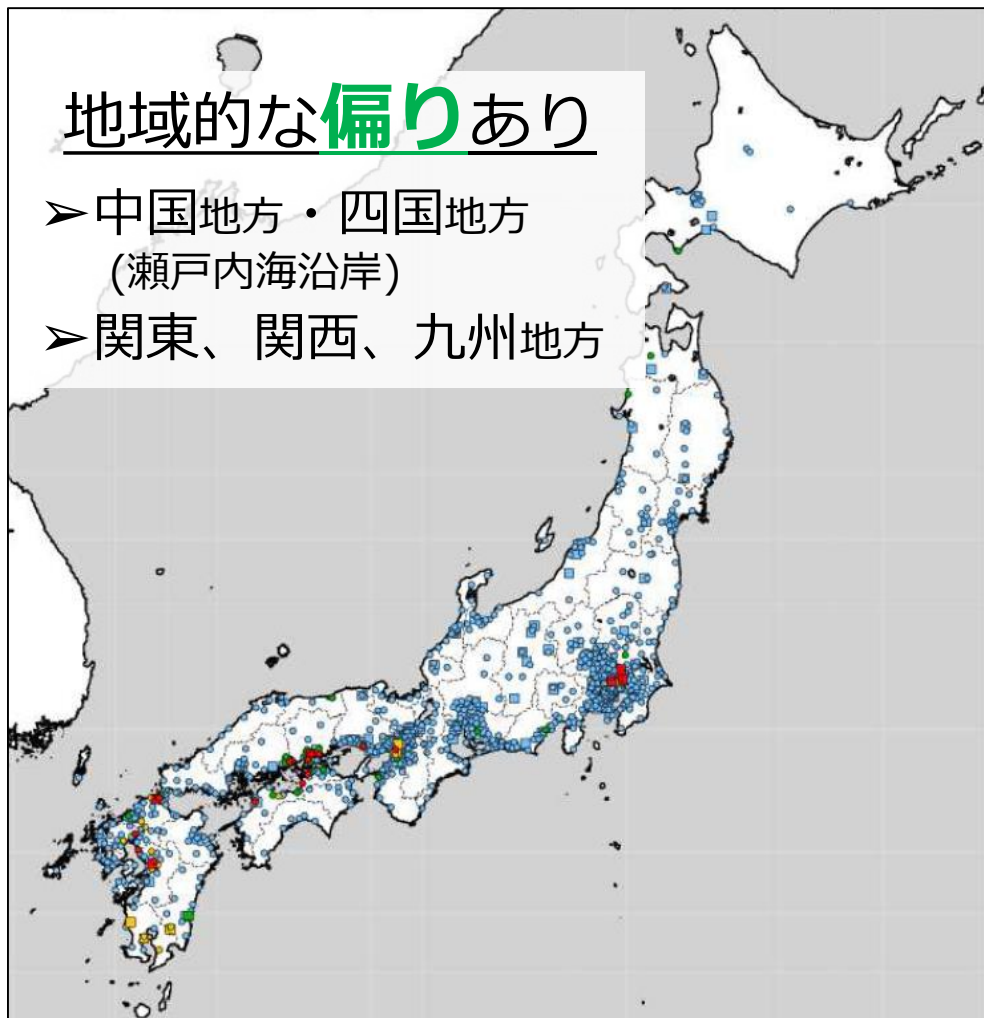
➤ 中国では大幅に改善

日本への越境も減少

出典：平成30年度大気汚染の状況（環境省）

地域的な偏りあり

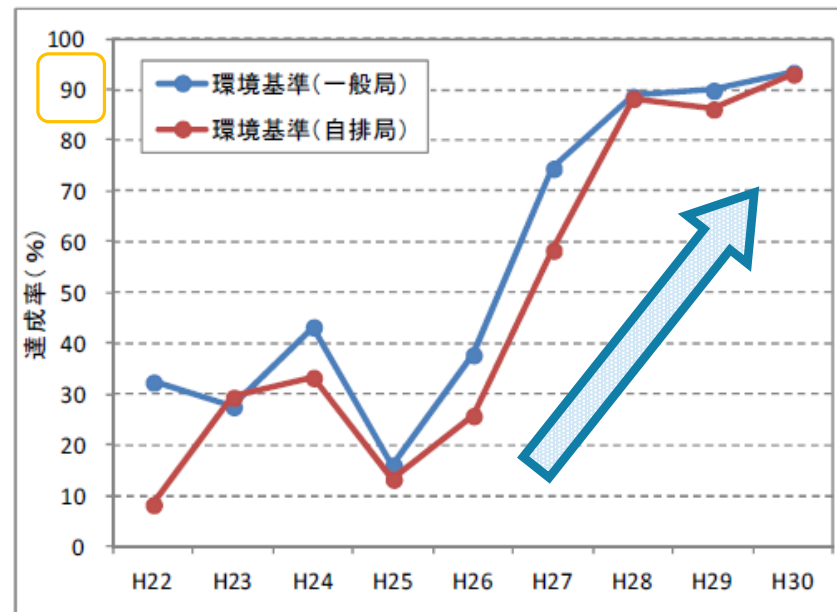
- 中国地方・四国地方
(瀬戸内海沿岸)
- 関東、関西、九州地方



■ 環境基準達成 ■ 短期基準のみ非達成 ■ 長期基準のみ非達成 ■ 短期・長期基準非達成

出典：平成30年度大気汚染の状況（環境省）

PM2.5環境基準達成率



- 環境基準達成率は大幅に**向上**

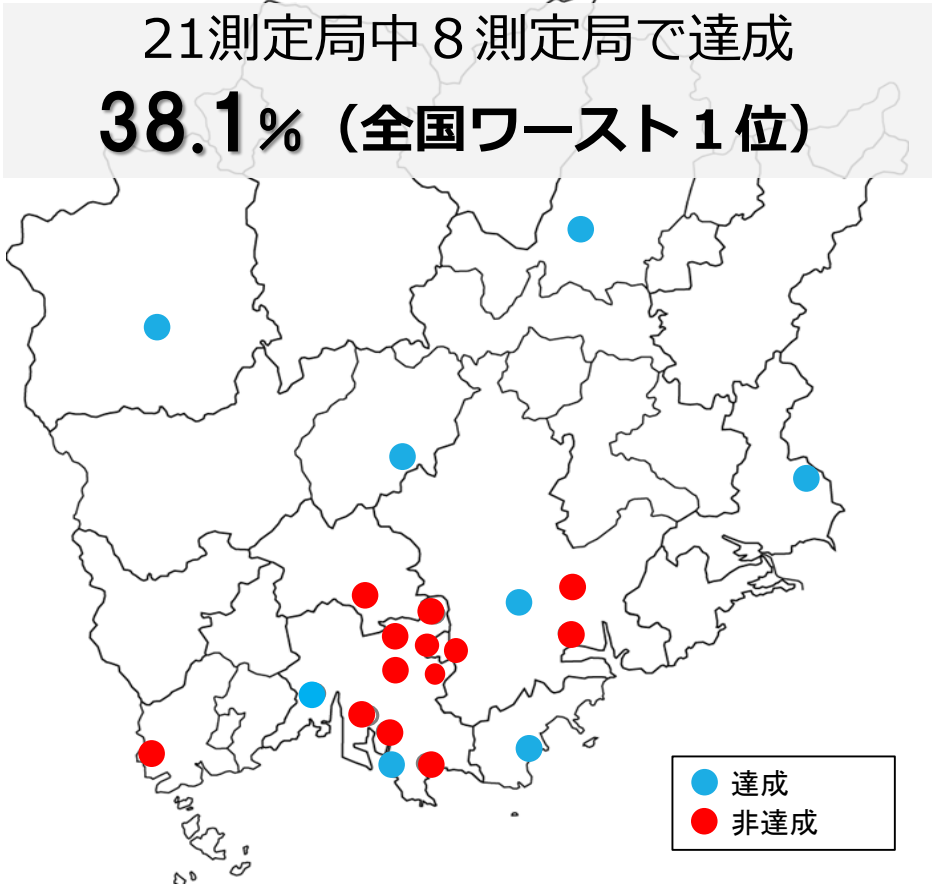
※ 環境基準達成率(%)

= 環境基準達成地点数 / 有効測定地点数

1 はじめに (3) PM2.5の現状

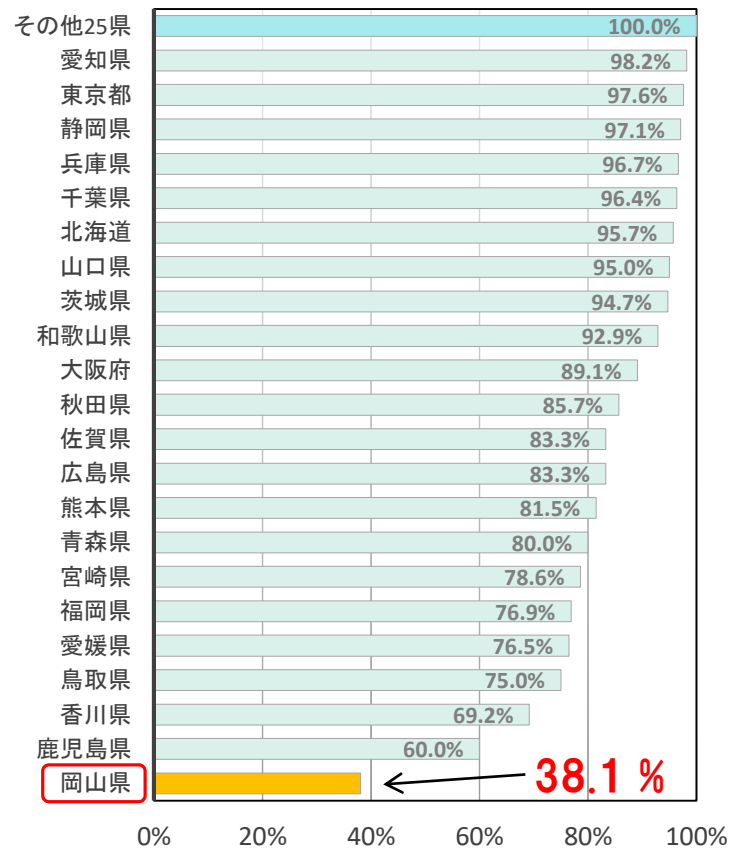
岡山県の状況

PM2.5環境基準達成状況 (平成30年度)



全国との比較

PM2.5環境基準達成率(平成30年度)



目次

1 はじめに

- (1) 動機
- (2) PM2.5とは
- (3) PM2.5の現状

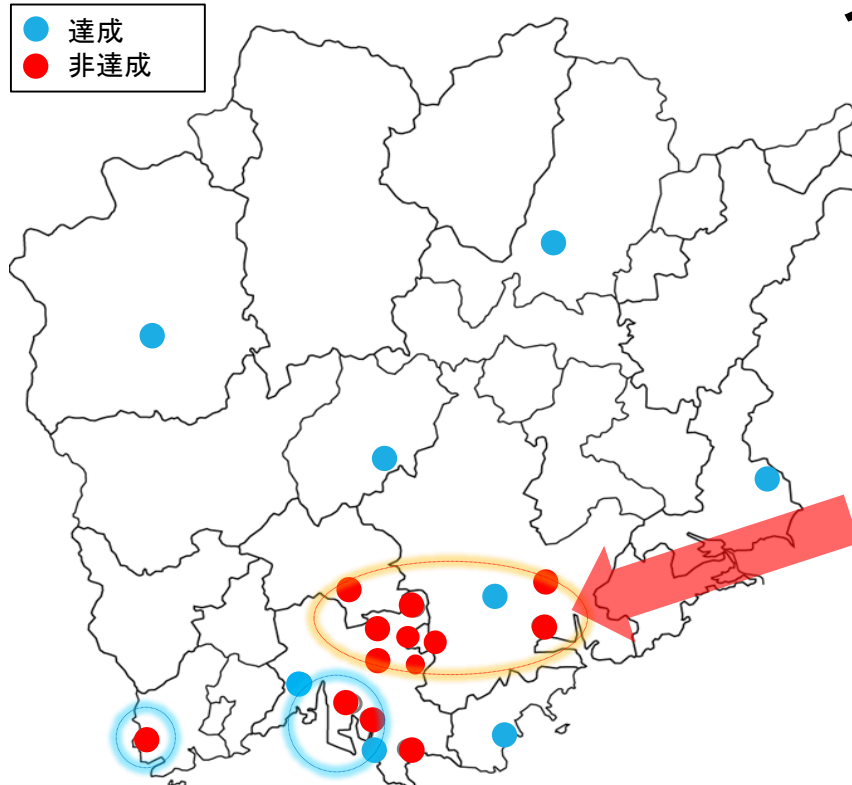
2 事業の方向性

- (1) 現状・問題点
- (2) 検討
- (3) 方向性

2 事業の方向性

(1)現状・問題点

本県の地域的特徴



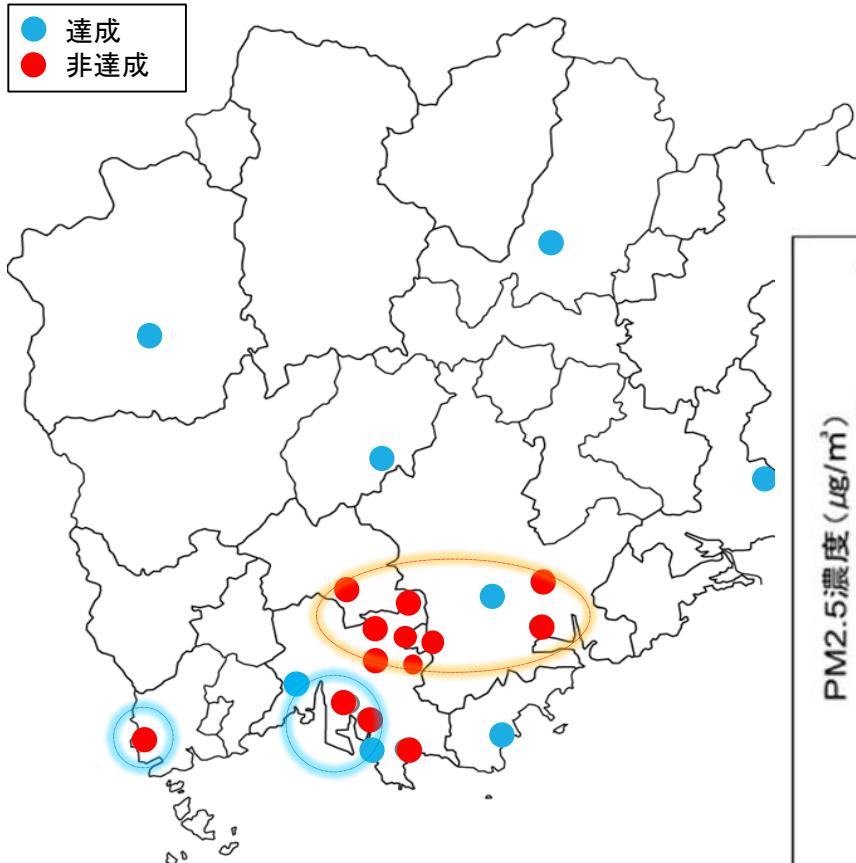
①水島地域などに 大規模な工場地帯あり

大規模工場地帯以外の
農業地域・住居地域
でも**非達成**の地点あり

2 事業の方向性

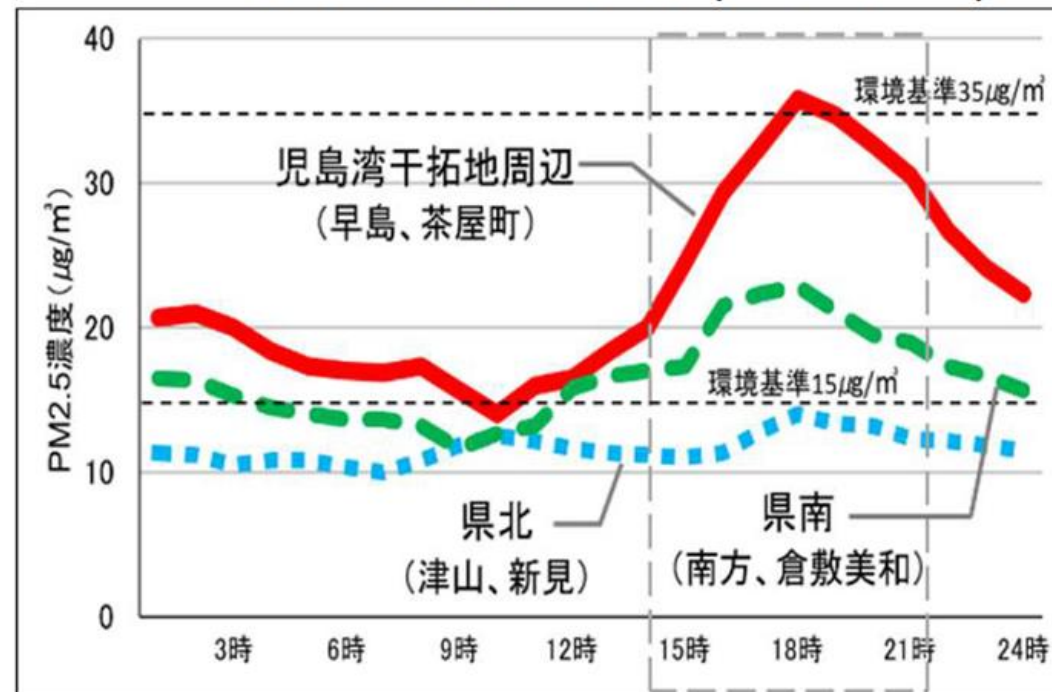
(1)現状・問題点

本県の地域的特徴



② 児島湾干拓地周辺には 広大な農業地帯あり (水稲、麦作など)

11月の時間別PM2.5濃度(H28-30平均)



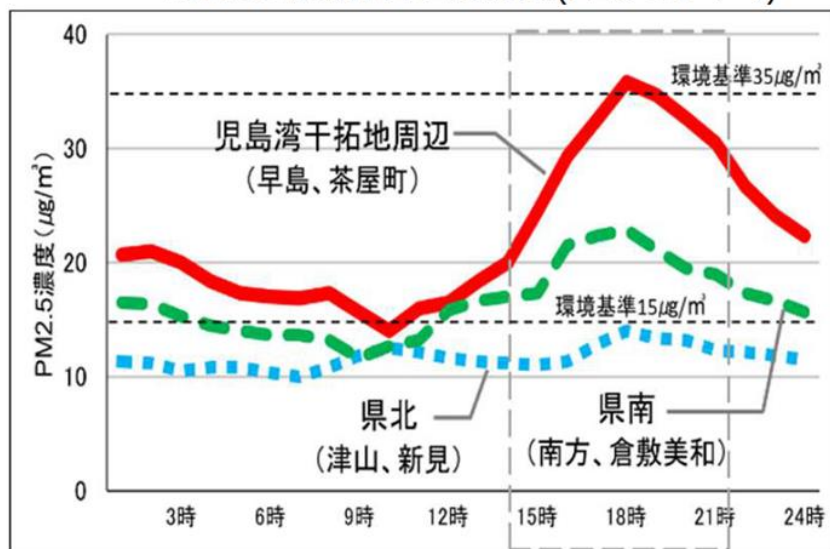
2 事業の方向性

(1)現状・問題点

なぜ、農業地域等で環境基準を達成していない？

11月のPM2.5濃度 夕方～夜半に上昇

11月の時間別 PM2.5 濃度(H28-30 平均)



秋期の稲刈り後に
稲わらを焼却処理
(児島湾干拓地周辺では比較的多い)



**稲わらの野焼きが
行われる時間帯と一致**

2 事業の方向性 (2)検討

稲わらの野焼きを減らすには？



方法その1 条例で規制

農家ごとで**野焼きの理由**は様々
(やむをえず野焼きをしている場合もある)



**規制による
方法は適さない**

方法その2 規制以外の方法 (啓発など)

- ・野焼き以外の手法を啓発
- ・取組可能な農家から実践
- ・実情に応じ柔軟に対応



稲わらの有効利用
(すきこみ、飼料化等)

2 事業の方向性 (3)方向性 (1/2)

稲わらの野焼きを減らすための具体策

1. 取組の方向

稲わらのすき込み

稲わらの有効利用としては、

- ・ 堆肥化（圃場から持ち出し）
- ・ 飼料化（畜産業等）
- ・ 果樹等の敷きわら

などがあるが、手間がかかる



わらを**土づくり**に活用

2. ターゲット

農家の声（野焼きをする理由）

- ✓ 野焼きをしないと**成り立たない**
（稲刈りと麦の播種期が近接し、作業工程上すき込みの余裕がない）
- ✓ **雑草・害虫対策**のため
- ✓ **習慣的**に、なんとなく



取組が**可能な農家**から

2 事業の方向性 (3)方向性 (2/2)

稲わらの野焼きを減らすための具体策

3. 取組の内容

農家の声 (すき込みをしない理由)

- ✓ すき込んだ稲わらの分解が遅いことが心配
- ✓ **なんとなく**野焼きしている
(すき込みへの転換のきっかけ次第?)



稲わら分解促進剤
の購入補助

4. 進め方

- ✓ 農家への補助金
- ✓ 各種啓発・広報など

環境部局だけで
農業者への
周知や啓発は**不可**



農業関係団体・
行政部局と連携

3 まとめ

- ✓ PM2.5濃度上昇の原因は、稲わらの野焼きも
- ✓ **規制以外の手法**で野焼きを減らし、稲わらの有効利用を推進
- ✓ 農家への**補助**と**啓発**を、今年度から新たに実施
- ✓ 推進会議で、**農業関係者**と**環境部局**が連携した取組



稲わらの有効利用を拡大



PM2.5濃度の低減

(環境基準の達成)

住民からさらに

応援してもらえる**農業へ!**